

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成28年3月定例会● 一般質問
北郷 幹夫 議員

今後の交通渋滞対策は

原発事故の収束や廃炉等に携わる作業員の車両で、朝夕の慢性的な交通渋滞により、住民の生活に支障を来しています。今後の交通渋滞対策をどう考えていますか。

関係機関等へ強く働きかける

常磐自動車道いわき中央インターから広野インター間が、平成32年度末までに四車線化をなしえ、JR常磐線は、平成31年度中に全線開通の見通しとなり、県道広野・小高線浜街道は、国道6号線桜田交差点からの檜葉町まで約5キロの区間が平成29年3月開通を予定しています。

県道広野・小高線（広野工区）が開通

平成28年12月7日に県道広野・小高線（広野工区）が開通し、供用開始となりました。今後も常磐自動車道の四車線化など交通渋滞の緩和が図られていきます。



5人の議員が町政を問う 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

平成29年度予算編成の状況は

遠藤町長／事業を精査して取り組む

北郷 広野町復興計画の前期復興期は平成29年度を目標年次としており、大変重要な年度です。

現在、予算編成時期を迎えています。①町長が就任してからの復興に対する取り組みと課題を伺います。②復興に向けて国・県補助金を活用した事業を最優先に予算編成をするべきですが、具体的な重点事業はどのように考えていますか。③一般会計の歳入見込みは、平成28年度当初予算と比較してどうですか。

町長 ①主な施策情報は、放射線の確保、町民の生活再建への支援、地域医療と福祉サービスの構築、農林業の再生と後継者の育成、産業・経済活動の再建による雇用の確保等です。

課題は、来年3月で仮設・借上住宅の供与期限が終了するため、生活環境の整備を早急に進める必要があります。双葉郡8町村で緊密な連携を図り、取り組めます。②一般会計の具体的な重点事業は、プレミア

ム付き商品券の発行、デイサービスセンター、福祉センター改修事業、認定こども園整備事業、下北迫大吹地区住宅等整備事業、広野駅東口広場整備事業、減容化施設解体事業、中央台地区道路整備事業、町道北釜・大谷地原線整備事業、ふくしま森林再生事業、※ほ

場整備推進事業、道の駅整備事業等を計画しています。③町税は、平成28年度と比較して個人町民税が3千700万円、増収が見込まれますが、固定資産税が広野火力発電所に係る償却資産分等により1億9千700万円の減収見込みのため、町税全体で1億5千800万円の減収を見込んでいます。また、使用料は、全体で約2千500万円の増収見込みです。

ジェネリック医薬品の普及啓発をせよ

遠藤町長／情報提供と普及促進に努める

北郷 医療費削減の環境として、ジェネリック医薬品希望カードを国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者に発行していただきますが、

①ジェネリック医薬品の普及状況はどのようになっていますか。②国民健康保険税は、毎年、現年度課税分の収入未済額を予算計上していますが、原因と対策はどのようになっていますか。③平成29年度以降の医療費の減免継続の見通しはどのようになっていますか。

町長 ①平成28年2月診療分において、町の国保は、数量ベースで44.2%、金額ベースで24%の普及率であり、後期高齢者医療は、県全体の数量ベースが58.5%、金額ベースが36.1%です。

②収入未済額の原因は、復旧・復興に従事する作業員等が大きな割合を占めています。滞納への対策は、督促状及び催告書はもとよ、町外に転出する際、

納税相談を行い、自主納付を促し、一括納付できない場合は、分納誓約書の提出を求めています。

今後は、滞納者に対する財産差押えを視野に入れ、預貯金等の調査を実施します。また、短期被保険者証等の交付を検討します。③平成29年度以降も継続して医療費の減免ができるよう、平成28年10月12日、南相馬市・田村市・川内村とともに、国に対し要望活動を行いました。



北郷幹夫 議員

※ほ場 作物を栽培する田畑



医療従事者様
ジェネリック医薬品を希望します
●治療に支障がなければジェネリック医薬品（後発医薬品）の処方をお願いします。
●カードは保険証などといっしょにご返却ください。
氏名●

ジェネリック医薬品希望カード（表・裏）